

問1 青森県の産業構造について述べた次の記述のうち、正しいものはどれですか。（2026年 岡山公立入試 類似）

1. 漁業生産量と果実産出額が共に全国五位以内という高い水準にあり、国内貨物海上輸送量も東北地方で二番目に多い。
2. 果実の産出額は全国上位五位以内であるが、漁業生産量は全国平均を下回っており、海上輸送より陸上輸送が中心である。
3. 国内貨物海上輸送量は東北地方で最も多いが、農産物の産出額は全国的に見て低い水準に留まっている。
4. 漁業生産量は全国トップクラスであるが、果実産出額は東北地方の中でも低く、一次産業の偏りが大きい。

問2 東北地方の気候と農業に関する説明のうち、太平洋から陸地に向かって吹く北東風の性質と、その地形的な影響をふまえた記述として適切なものはどれですか。（2026年 岡山公立入試 類似）

1. 冷たく湿った北東風が奥羽山脈に突き当たることで、山脈の東側にあたる太平洋側で低温や曇天が続く、稲作に悪影響を及ぼすことがある。
2. 湿った北東風が奥羽山脈を越える際に水分を失い、山脈の西側にあたる日本海側で乾燥した高温の風となり、大火災を招く恐れがある。
3. 冬に太平洋側から吹く冷たい風が山脈にぶつかることで、日本海側とは対照的に、太平洋側の平野部に大雪をもたらす。
4. 夏に南から吹く湿った風が太平洋側に当たることで、温暖な気候を利用した稲の二期作が盛んに行われている。

問3 山形県の工業に関する記述において、内陸部と沿岸部の地域的な特色を正しく説明しているものはどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）

1. 内陸部の盆地周辺には、高速道路の整備に伴って電子機械工業などの工場が立地し、沿岸部には港湾を活かした石油化学コンビナートや鉄鋼業が立地している。
2. 内陸部では伝統的な食品工業が工業出荷額の大部分を占めており、沿岸部では北前船の寄港地であった歴史から、現在は繊維工業が中心となっている。
3. 内陸部では広大な土地を活かした自動車の組み立て工場が集中的に立地し、沿岸部では豊富な水産資源を加工する食品工業が工業の主体となっている。
4. 内陸部では豊富な森林資源を利用したパルプ・紙工業が発達しているが、沿岸部には大規模な工業地帯は見られず、観光業が中心の産業構造となっている。

問4 日本の都道府県別の統計において、漁業生産量と果実産出額の両方が全国上位五位以内に入っている、農林水産業が非常に盛んな県はどこですか。（2026年 岡山公立入試 類似）

1. 青森県
2. 山形県
3. 福島県
4. 秋田県

問5 東北地方の山形県内を流れ、その下流域に日本有数の穀倉地帯である庄内平野を形成している河川として、正しいものを選択してください。（2023年 徳島公立入試 類似）

1. 最上川
2. 北上川
3. 阿武隈川
4. 雄物川

問6 東北地方の地形について、中央部の南北に走る奥羽山脈と、その東側に位置する北上山地の特徴を比較した記述として正しいものはどれか。（2023年 愛媛公立入試 類似）

1. 奥羽山脈は火山が多く含まれる険しい山脈であり、北上山地は比較的古くならかな高原状の地形である。
2. 奥羽山脈は標高が低くならかな高原であり、北上山地は火山活動が盛んな険しい山脈である。
3. 奥羽山脈はリアス海岸を形成する原因となっており、北上山地は日本最長の山脈として中央部を貫いている。
4. 奥羽山脈は東北地方の西側に位置して日本海に面しており、北上山地は中央部を南北に走っている。

問7 東北地方の日本海側では冬に多くの降雪が見られるのに対し、奥羽山脈などの山々に囲まれた内陸部では、沿岸部と比較して年間の降水量が少なくなる傾向があります。このように内陸部で降水量が少なくなる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 宮城県公立入試 類似）

1. 湿った空気が山脈を越える際に雨や雪として水分を放出するため
2. 夏に吹く冷たく湿った「やませ」の影響を最も強く受けるため
3. 暖流である日本海流の影響が山脈によって遮られてしまうため
4. 内陸部は標高が高く、年間を通して上昇気流が発生しにくいから

問8 仙台駅から鉄道を利用して移動する場合、盛岡駅へは約39分で到着できるのに対し、気仙沼駅へは約129分を要します。このように、仙台駅から各都市への所要時間に大きな差が生じる要因として、東北地方の交通網の整備状況から説明できる最も適切な理由はどれですか。（2026年 広島公立入試 類似）

1. 仙台駅と盛岡駅の間には東北新幹線が整備されており、高速での移動が可能となっているから
2. 気仙沼駅へは新幹線と在来線の両方が並行して走っており、駅での乗り換えに時間を要するから
3. 盛岡駅へ向かう路線は、地形が平坦であるため在来線が新幹線に近い速度で運行されているから
4. 気仙沼駅は沿岸部に位置しており、新幹線が通っているものの運行本数が極めて少ないから

## 答え合わせ・解説

- 問1** **答え 1**  
**漁業生産量と果実産出額が共に全国五位以内という高い水準にあり、国内貨物海上輸送量も東北地方で二番目に多い。**
- 青森県は一次産業の生産力が極めて高く、漁業と果樹栽培の両分野で全国トップ5に入る実力を持っています。また、その生産を支える物流面においても、東北地方で第2位となる高い海上輸送量を誇っており、生産と流通が結びついた産業構造が確立されています。
- 問2** **答え 1**  
**冷たく湿った北東風が奥羽山脈に突き当たったことで、山脈の東側にあたる太平洋側で低温や曇天が続き、稲作に悪影響を及ぼすことがある。**
- 「やませ」は太平洋から東北地方の陸地に向かって吹き込みますが、中央にそびえる奥羽山脈によって遮られるため、特にその東側の地域（太平洋側）に冷涼な気候をもたらします。この風が長く吹き続けると、夏でも防寒着が必要なほどの気温低下を招き、稲の結実を妨げる深刻な冷害に発展します。選択肢にある「山を越えて乾燥した高温の風になる」現象はフェーン現象の説明であり、やませによる冷害とは仕組みが異なります。
- 問3** **答え 1**  
**内陸部の盆地周辺には、高速道路の整備に伴って電子機械工業などの工場が立地し、沿岸部には港湾を活かした石油化学コンビナートや鉄鋼業が立地している。**
- 山形県の工業は地域によって明確な特色があります。内陸部の盆地には、製品が小型で輸送コストを抑えられ、高速道路網による迅速な輸送が求められる電子機械工業が多く立地しています。一方で、沿岸部の酒田市などでは、原材料の輸入や製品の大量輸送に便利な港湾機能を活かし、石油化学コンビナートや鉄鋼などの重化学工業が発達しました。
- 問4** **答え 1**  
**青森県**
- 青森県は、三方を海に囲まれた地理的条件を活かした漁業と、冷涼な気候を利用したリンゴなどの果樹栽培の双方が全国トップクラスの規模を誇っています。統計上、漁業生産量と果実産出額の双方が全国トップ5に入るという、一次産業において極めてバランスの取れた高い生産力を持つことが特徴です。
- 問5** **答え 1**  
**最上川**
- 山形県を流れる最上川は、県内の盆地を潤しながら北上し、酒田市付近で日本海に注ぎます。その下流には、最上川が運んだ土砂によって形成された広大な沖積平野である庄内平野が広がっており、古くから大規模な稲作が行われてきました。一方、選択肢にある北上川は岩手県から宮城県へと流れる、東北地方で最も長い河川です。
- 問6** **答え 1**  
**奥羽山脈は火山が多く含まれる険しい山脈であり、北上山地は比較的古くならかな高原状の地形である。**
- 東北地方の中央を走る奥羽山脈は、火山帯が重なり急峻な山々が連なるのが特徴です。一方、その東側（太平洋側）にある北上山地は、古い地層からなり、長年の浸食によってなだらかな高原状の地形が広がっています。この地形の差は、農業や土地利用の仕方の違いにも繋がっています。
- 問7** **答え 1**  
**湿った空気が山脈を越える際に雨や雪として水分を放出するため**
- 東北地方の中央部を南北に走る奥羽山脈などの高い山々は、海から吹き込む湿った空気の進行を妨げる壁の役割を果たします。湿った空気が山を越える際に、斜面上昇して雲を発達させ、雨や雪を降らせるため、山を越えた後の空気は乾燥します。このため、周囲を山に囲まれた内陸部の盆地などでは、沿岸部に比べて年間の降水量が少なくなります。
- 問8** **答え 1**  
**仙台駅と盛岡駅の間には東北新幹線が整備されており、高速での移動が可能となっているから**
- 東北地方の交通網は、仙台市を中心に放射状に整備されています。特に東北新幹線が通る盛岡駅などは、仙台駅からの距離があっても短時間で移動できるという特徴があります。一方で、気仙沼駅のように新幹線が直接通っていない都市への移動には、在来線などを利用する必要があるため、新幹線整備済みの都市と比較して所要時間が長くなる傾向があります。